

山里の園芸書

名もなき山里人と
名もなき都市人が
今日もまた出逢う

一緒に聞き書き
しませんか！

「山里の聞き書き」はこんな活動です

山里の聞き書き活動とは



得られること

●学びの旅

自然の成長量だけで暮らすことを忘れてきた私たちにとって、農山漁村の暮らしを見直すことは未来への大きなヒントになります。見知らぬ場所で見聞する風景、産物、言葉などに旅の楽しさも感じます。

●まちむら交流

山里の人と知り合いになりたくてもきっかけがなかった人にとっては、いい機会になります。また訪れるもう一つのふるさともできます。

●「ありがとう」の連鎖

書き手はお話を聞かせてもらったことに感謝します。話し手（山里の人）は、できた作品を読んで嬉しく思います。話し手の喜ぶ顔を見て、書き手はまた元気づけられます。

●山里文化記録

地域の記録、人の生きた証が確実に残り、子どもたちに引き継ぐことができます。地域の文化の資料になります。

●地域づくり

地域みんなが書籍を読んで、ふるさとの魅力に気づき、地域に誇りがもてます。それが地域づくりの第一歩となります。

活動実績

- 『恵那・山里の聞き書き 2008』 岐阜県恵那市北部地域
 - 『奥矢作・水源の里に生きる』 岐阜県恵那市南部地域
 - 『篠島・海こそすべて』 愛知県篠島
 - 『いのち満ちる山河—中野方—』 岐阜県恵那市中野方町
 - 『夏の朝、草を刈って—語り継ぐ記憶—長野県木祖村—』
 - 『山を拓き、ここに暮らしを創る—愛知県段戸山麓戦後開拓集落』(受託)
 - 長野県根羽村の聞き書き (受託)
- ほか、全国各地の団体、大学の聞き書き活動を多数お手伝いしています。

●あなたの地域でも本をつくりませんか

山里の聞き書き活動をしたい、自分の地域の聞き書き本を作りたいという地方自治体・団体・大学の研究室などをお手伝いします。お問い合わせください。食の文化祭、地元学など地域の魅力発見のための活動支援も行っています。

プロジェクトの流れ

聞き書き塾で聞き書きの意義や方法を学ぶ



聞き書きする地域を探訪して地域を知る



○山里文化研究所が話し手を紹介

各自話し手にアポを取り、話を聞きに行く



録音を起こして各自原稿をつくる

山里文化研究所（編集者）が作品づくり指導

山里文化研究所で聞き書き集として刊行



話し手に本を贈呈し感謝の気持ちを伝える発表会



講演や食の文化祭など記念行事でなごやかに交流

